

### ■米国：連邦航空局、ドローンによる目視範囲を超えての点検を一部承認

2018年4月19日付の記事によると、Xcel社（本社ミネアポリス）は、コロラド州のデンバーにおいて連邦航空局（FAA）から、目視範囲を超えてのドローンによる送電線網の点検を行う承認を得た。デンバーのエリアでの点検を完了した後には、他州への点検範囲の拡大も視野に入れている。ドローンを用いて目視範囲外まで点検を行う場合、これまでのヘリコプターによる点検では1マイル当たり平均1,200～1,600ドル（約13～17万円）かかっていたコストが、将来的には平均200～300ドル（約2～3万円）に抑えられると見積もっている。これまで、目視範囲内でのドローンによる送電網の点検は許可されていたが、目視範囲外での点検が承認されたのは初めてとなる。